

令和元年第2回新十津川町議会定例会一般質問通告表

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (7)	西内 陽美	<p><b>1 子育て世代包括支援センター設置への取り組みについて</b></p> <p>「児童福祉法等の一部を改正する法律」において、母子保健法の改正が行われ、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」（法律上の名称は「母子健康包括支援センター」）が新たに規定され、市町村は同センターを設置するように努めなければならないこととなった。</p> <p>また、政府は、令和2年度末までに、「子育て世代包括支援センター」の全国展開を目指し取り組むこととしている。</p> <p>本町の設置に向けての考え、準備状況を伺う。</p>	町長	
		<p><b>2 産後うつ対策について</b></p> <p>今年度からの新規事業として、産後のうつ予防や新生児への虐待予防を図るため、産婦健康診査2回分の受診費用が助成される。既存の産婦家庭訪問事業や新生児訪問指導、こんにちは赤ちゃん事業に加え、更なる母子支援強化事業として高く評価したい。</p> <p>この新規事業の意義が子を授かった母親、家族に共有され、有効に活用されることを願い、次の4点について伺う。</p> <p>(1) 受診率100%のための具体的方策は。</p> <p>(2) 受診結果内容を把握する方法は、医療機関からの報告か、受診者本人からの申告か。</p> <p>(3) 身体的な有所見者・精神的な有所見者へのそれぞれの対応は。</p> <p>(4) 有所見者へは、健診後の保健指導等は継続されるのか。</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
1 (7)	西内 陽美	<p><b>3 エンディングノートの活用について</b></p> <p>執行方針によると、高齢者福祉事業として「エンディングノートの活用を広める」とのことである。</p> <p>人生の終局に向け自分自身で準備する活動、いわゆる「終活」に欠かせないものとして注目されるようになってきており、書店や文房具店などで一般的に販売されているが、「エンディングノート」の利用を、本町が、高齢者福祉事業として広めることの意義は何かを伺う。</p> <p>また、記入内容に関して、医療・介護関係等、本町の地域包括支援センターで対応できるもの以外に、司法書士やファイナンシャルプランナー等職の助言が必要なものもある。活用を勧める際に書き方を説明したり、その後において、他機関との連携体制はどのように図られるのかを伺う。</p>	町長	
2 (2)	村井 利行	<p><b>1 総合健康福祉センター「ゆめりあ生甲斐ホール」の利用状況について</b></p> <p>総合健康福祉センターは、2000年4月にオープンしました。町民が健康で明るく生活するために必要な保健や予防、健康な体作りや生甲斐学習の助長介護、福祉サービスに関する助言の他、障害者や高齢者の自立した生活の維持を側面から支援できる機能を持った複合施設で、まさに新十津川町が他に誇る素晴らしい総合施設であります。また、新十津川町音楽ホールとしての公演に対しては、滝川からの来客も期待できるという判断も本ホールの性格付けの決定に大きく影響したと思われます。</p> <p>そこで質問ですが、この素晴らしい「ゆめりあ生甲斐ホール」の利用状況は稼働率何パーセント位でしょうかということですが、調べましたら45パーセント（365分の160前後）前後という事です。この数字が適切かどうかは分かりませんが、町として稼働率が上がる</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
		<p>ような対策を打つ必要があるのではないかと 思われます。町長のご意見をお聞きしたいと 思います。</p>		
		<p><b>2 給付型奨学金制度の導入について</b></p> <p>我が町では、いろいろな手厚い子育て支援 があります。平成28年8月からは、高校生の 医療無料化も組み込まれました。子育てをす るに当たり、乳幼児から高校生まででも教育 資金は結構かかりますが、しかし短大、大学 はその比ではありません。</p> <p>この子育ての支援の中に奨学金制度があり ますが、償還型であります。これを場合によ っては給付型にしてはどうかということど す。</p> <p>新十津川町で生まれ育って高校までは居住 するが、大学、就職は町外というのが大半で はないでしょうか。何とか新十津川町に戻っ てもらふ、住んでもらふにはどうしたらいい か、皆で知恵を出し合わなければなりません。</p> <p>人口減少においては、定住促進制度があり 素晴らしい成果を上げています。これを一の 矢とすれば、更に二の矢を放ち、人口減少対 策、雇用者確保に結びつけていってはいかが でしょうか。</p> <p>制度的には少し複雑になるかと思いたす が、条件によっては一部または全額給付型 (卒業後新十津川町若しくは近隣に就職し新 十津川町に居住)を追加してはいかがかと思 います。教育長のご意見をお聞きしたいと思 います。</p>	教育長	

順位 (議席番号)	質問者	質問事項	答弁者	摘要
3 (6)	杉本 初美	<p><b>1 心が通い合うふるさと納税のあり方について</b></p> <p>ふるさと納税は、節税や返礼品を受け取るだけでなく、納税を通じて都市と地方の住民の心が触れ合う必要があると考える。</p> <p>例えば、北見市ではカーリングや陶芸体験などの体験型返礼品をメニューとしている。</p> <p>我が町の魅力を引き出すために、豊かな町づくりとして魅力的な観光資源の整備を進めていただき、体験型の返礼品に取り組んでみてはいかがか。</p>	町長	
4 (5)	小玉 博崇	<p><b>1 高齢者免許自主返納促進への対策について</b></p> <p>高齢者の自動車事故が増えているなか、各自治体でも運転免許証自主返納の呼びかけが盛んに行われています。本町でも町広報を通じたPRを行うとともに、免許を返納しても不便のない交通体制確保に向けた地域公共交通整備に努めているところです。</p> <p>しかし、町民の方からは免許を返納すると生活できないという声が聞かれ、ギリギリまで返納できないという声も聞かれます。</p> <p>町内で発生した事故の高齢者割合が平成30年で40%となり、今後、更に高齢化が進むなか、町内で高齢者による大きな事故が起きないように、運転免許証自主返納の促進と同時に、免許を手放しても町内で安心して暮らせる交通整備が急務となります。</p> <p>運転免許自主返納を促進するための具体的な取組みについて伺います。</p>	町長	
5 (3)	進藤久美子	<p><b>1 高齢者難聴の方に補聴器の補助を</b></p> <p>本町においては、補装具の支給として身体障害者手帳を持っている方、難病の方を対象に補聴器の補助を行っています。</p> <p>近年、高齢者難聴を患っている方が多くいると聞いています。</p> <p>2017年に開かれた国際アルツハイマー病会議でランセット国際委員会が「認知症の九つの原因の中で難聴が最大の危険因子である」</p>	町長	

順位 (議席番号)	質問者	質 問 事 項	答弁者	摘要
		<p>と発表されています。</p> <p>本町でも「高齢者福祉の充実」に向けて取り組んでいることから、是非、その観点に立って、認知症の予防対策を目的とした補聴器の補助対象者枠の拡大を考えてみてはと思いますが、町長のご意見を伺います。</p>		